



議員 高澤 公
ジオパークの
対応は

ジオパーク効果の
取り組みは

質問

10月20日に糸魚川ジオパークが世界ジオパーク申請地に決定したが、ジオパーク効果の取り組みについて伺う。

市長答弁

ジオパークの対応については、10月20日、日本ジオパーク委員会から糸魚川ジオパークが世界ジオパークへの申請地として決定したことの連絡をもらい、現在、世界ジオパークへの加盟に向けて全力で取り組んでいる。

今後の行動計画としては、3年間でリーフレットの発行やツアープログラムの作成、解説板等の整備を優先的に行い、併せてガイドの養成を図るとともに、生涯学習、学校教育と連携した学習支援を継続していく。

ジオパークの取り組みについては、ジオパークを地域振興に結びつける上で観光客の受入態勢等が大きな課題となるが、これに対応するために新年度、世界ジオパーク認定を想定し、交流人口の拡大に向けたプランを策定する予定であり、新年早々には庁内の



議員 野本 信行
新年度予算編成時の
重点的事業推進は

重点・新規事業の
展開は

質問

新年度予算編成における重点・新規事業の展開について伺う。

市長答弁

主な重点・新規事業については、総合計画の目標とする都市像と、6つの施策大綱を念頭に、特に次の3項目を重点施策とする予算編成を進めている。

- ① 安全安心なまちづくり
学校や公共施設の耐震化

公共諸施設全体の
耐震化進捗状況は

質問

幼稚園・保育園(所)、小・中学校、公民館など公共集会施設の耐震化進捗状況について伺う。

市長答弁

耐震診断が必要な幼稚園・保育園については、糸魚川地域の公立保育園が3園、能生地域の民営保育園が5園あり、青海地域は対応済みである。耐震化が必要な小・中学校

については、木造施設を除き糸魚川地域6校、能生地域2校であり、平成24年度を目標にして耐震改修を完了させることにしており、概算事業費は約60億円と想定している。耐震診断が必要な公民館等の公共集会施設については、地区公民館で22棟あり、本年度にすべて完了する。

